

令和 7 年 8 月 8 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

滋賀県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
米原市立河南小学校	米原市立教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
米原市立河南小学校	https://kanan-e-maibara.edumap.jp/page_20200625223451

※必要に応じて行を追加すること。

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
米原市立河南小学校	https://kanan-e-maibara.edumap.jp/page_20200625223451	https://kanan-e-maibara.edumap.jp/page_20200625223451

※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

・計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

・実施している

・実施していない

＜特記事項＞

- ・参観日に英語科の学習を参観いただき、保護者の理解を図っている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本校は、小規模校であり、単学級のため、人間関係の変化があまりないのが大きな特徴である。児童は素直で素朴であるが、児童がお互いに新たな面を発揮しづらく、固定概念で見えてしまう部分がある。そこで、英語科の学習を通して、英語をツールとして自己を見つめなおし、発信したり、積極的に人に関わる力を育成したりすることで、自己肯定感を高めるところに力を入れている。また、6年生では修学旅行などで外国の人にインタビューをする取組などを設定している。学校評価アンケートの中で保護者も英語科の学習を評価していただいている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

全国学力学習状況調査の結果から、児童の自己評価や積極的な学習姿勢に関する質問において、以前は全国平均より低い回答が見られたが、近年では肯定的な回答が増加傾向にある。特に英語科の取り組みを通じて、児童の自信や積極性が向上し、自己肯定感の向上に一役買っている様子がうかがえる。

4. 課題の改善のための取組の方向性

外国との交流が難しい場合でも、インターネットを通じて外国の学校とのオンライン交流を行い、ビデオチャットや共同プロジェクトを通じて言語や文化を共有し、相互理解を深める機会を設ける。

児童たちが実際のコミュニケーションや生活場面で役立つ英語学習を推進し、旅行やショッピング、日常会話などのシチュエーションを想定した学習コンテンツを取り入れて学習意欲を高める。

教師の英語指導力の差が課題であることから、教師向けに英語指導の研修の機会を設定し、教師同士の情報交換やスキルアップを促進することで、英語指導力を向上させる。また、英語指導助手との効果的な連携を図って授業を進め、児童の学力を高める。

児童たちの自己肯定感や積極性を高めるために、ポジティブな学習環境を整え、自由に表現したり、意見交換をしたりできる雰囲気を作成する。